

南のサカナ 北のニク — 南魚北肉 私論 — 【サマリー】

重 森 貝 崙^{ばい ろん}

2014年6月、養蚕と養魚を同時並行的に行う自然循環農法である「桑基魚塘」^{そうきぎょとう}の撮影のため、広東省広州・順徳に滞在した。朝の腹ごしらえは、「草魚の切り身入りのお粥」であった。昼も「魚の煎り煮」を食べ、夜は「魚の姿蒸し」を食していたのを思い出す。

7月末から8月上旬にかけて、内モンゴル自治区の北東部を旅した。この地方は、車で何時間走っても見渡す限り大草原であった。この大草原で視認できる生きものは羊の群れだけとっていい。そして、滞在中の食事は、圧倒的に「羊肉攻め」であった。すなわち「南魚北肉」を実体験したのである。